



# コモンズ30 +しずぎんファンド

(月次報告書)



## ● 基準価額の推移



## ● ファンドのデータ

(2018年1月31日付)

基準価額	13,842円
純資産総額	502百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除して  
います(後述の「コモンズ30+しずぎんファンドの費用について」を  
ご覧ください)。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の  
増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成  
基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

## ● 分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2015年12月18日)	0円	第2期 (2016年12月19日)	0円	第3期 (2017年12月18日)	0円
----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

## ● 基準価額(税引前分配金を再投資したものととして算出)の騰落率 (2018年1月31日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
1.29%	5.40%	15.16%	24.00%	37.64%	38.42%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

## ● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド (マザー)	92.0%	0.0%
静岡銀行株式	7.9%	▲0.1%
現金等・その他	0.2%	▲0.1%
構成銘柄	31社	0社

## ● 運用状況(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

### ◎1月のファンド月間リターンとその要因

1月のファンドの月間リターンは、1.29%の上昇となりました。

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「ヤマトホールディングス(+24.01%)」、「SMC(+15.39%)」、「マキタ(+8.55%)」となりました。ヤマトホールディングスは、第3四半期が1年ぶりの営業黒字になるという観測記事などが強く好感されました。SMCは、2018年ロボット生産額見通しや12月工作機械受注など明るい材料を背景に、証券会社の目標株価が引き上げられたことなどが好感されました。マキタは、SMCの上記要因に加え、国内証券会社が「オーバーウェイト(買い推奨)」で新規カバレッジしたことなどが材料視されました。下位3銘柄は、「楽天(▲4.52%)」、「セブン&アイ・ホールディングス(▲4.21%)」、「クラレ(▲4.05%)」となりました。楽天は、携帯電話事業参入で事業環境の不透明性の高まりをネガティブ視する見方の浸透により前月に引き続き下落しました。セブン&アイ・ホールディングスは、第3四半期決算(9-11月期)において国内コンビニ事業が減益となったことなどが嫌気されました。クラレは、液晶パネルにおける価格調整やスマホ需要の伸び悩みを懸念する見方が広がるなか、同社は液晶材料関連ということで軟調に推移しました。なお、ベビーファンドで直接投資している静岡銀行株式の月間騰落率は0.26%の下落でした。

運用部・シニアアナリスト 鎌田 聡

### ◎運用責任者メッセージ

1月の内外金融市場は、世界経済の拡大を背景とした企業業績向上への期待の高まりから世界的な株高が継続しました。特に、米国での税制改革法案の可決による企業利益の一段の増加を期待とした株高が世界の株式市場をけん引しました。NYダウとS&P500は10カ月連続の上昇となりました。また、1月22日、IMFは世界経済見通しの改定において、世界全体の成長率を2017年+3.7%、2018年+3.9%、2019年+3.9%とそれぞれ、0.1%、0.2%、0.2%の上昇修正を行いました。

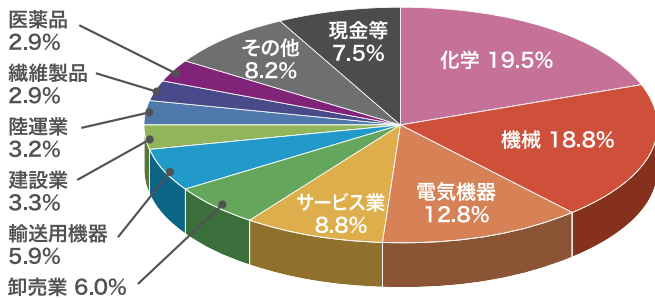
世界経済が足元でも上振れしてきたことから、2月に入り欧米の長期金利の上昇ピッチが上がってきています。金利上昇に加え、年初からの株価の上昇が速かったことから一時的な調整局面を迎えています。世界経済の好調さは当面変わらないと考えていますので、少し高めていた現金比率を活用し、調整局面ではしっかりと買いのスタンスで臨む方針です。調整局面での耐性に特徴のあるコモンズ30+しずぎんファンドにご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

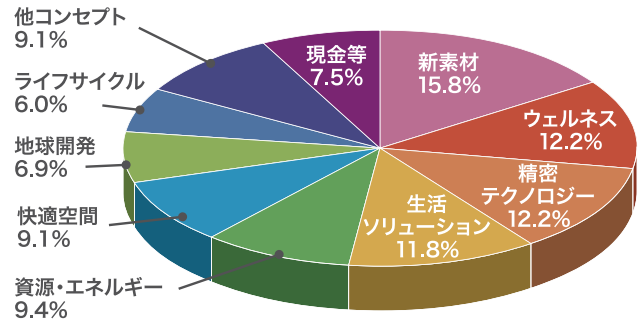
## ● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

(2018年1月31日付)

### ◎業種別構成比



### ◎未来コンセプト別構成比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

## ● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2018年1月31日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要	組入比率
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく	3.5%
6301	コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力	3.5%
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.4%
6902	デンソー	未来移動体	自動車市場拡大の恩恵を受ける	3.4%
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru, kezuru, migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	3.4%
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.3%
6326	クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与	3.3%
1963	日揮	資源・エネルギー	アジア・アフリカの未来を創る国境なき技術団	3.3%
6501	日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、世の中を便利にする	3.2%
8058	三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	3.2%

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。  
「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

## ● 新規組入投資先

なし

## ● 今月のピック!

1月はヤマトホールディングスの株価が24.01%と大幅に上昇しました。1月上旬に新聞の観測記事で、「個人向け値上げなどで採算が改善して2017年10-12月期の営業利益が前年同期比8%増の400億円となり、1年ぶりの四半期営業黒字になりそう」、との報道や、1月下旬の第3四半期決算発表でその内容が確認できたことなどが主な要因です。

1月下旬の決算説明会では、デリバリー事業におけるプライシングの適正化により宅急便単価が上昇し、同社の最優先課題である「働き方改革」の推進による費用増加の中、業績が想定通り回復基調にあると説明しました。また価格交渉により大口顧客1100社のうち4割が他社に流れましたが、最大手取引先が値上げを受け入れたことや、小口法人顧客の値上げ効果が想定よりも早めに表れたことなどから、2018年3月期の通期予想を上方修正しました。最繁忙期の第3四半期をしっかりと乗り越えたことも好材料となりました。

運用部・シニアアナリスト 末山 仁

## ● 企業との対話

### 【資生堂魚谷社長、登壇!】

去る1月18日、コモンズ30ファンドはおかげさまで9期目の決算を迎えることができました。お仲間の皆様に深く感謝申し上げます。

その運用スタートに、コモンズ30ファンドに組入れられた企業は11社。

(組入銘柄数が30社になったのは、運用開始から10か月後の2009年10月でした)

その11社のうち、9期たった今も保有させていただいている企業は6社あります。

その6社の中の1社が、今回、9周年イベントにご登壇いただく資生堂です。

140年という歴史を持つ同社において、今回ご登壇いただく魚谷さまが社長に就任されたのが2014年4月。老舗ならではの成長の壁にぶつかっていた同社に外部からプロ経営者として招かれました。そして、改革を断行。不採算事業の整理などの構造改革やブランドの再構築に取組み、前期(2017年12月期)は売上・営業利益共に過去最高の更新が見込まれています。

また、好業績期待を織り込み、株価も上場来高値を更新という状況にあります。

一方、社長就任直後に発表された人事制度の変更は、1万人の美容部員を対象に育児中でも夜間までの遅番や土日勤務に入ってもらおうというものでした。社員の8割超が女性、顧客の9割も女性という同社にあって、この制度を取り入れた際は「資生堂ショック」と世間では騒がれました。世間ではようやく女性の働きやすさを追求する動きが高まり始めたばかりでしたから、むしろ女性の「働きやすい会社から、働きがいのある会社へ」のシフトを進めていた同社への取組は先進的であるが故の軋轢を生んだといえるでしょう。

こうした中、私たちは、こうした改革のさなかにあった資生堂さんにお声がけをし、BCを統括する美容部門のトップを務められていた(当時)執行役員の副島さまにお越しいただき、コモンズ30塾「女性の活躍セミナー」を開催したのです([https://park.common30.jp/2016/11/blog-post\\_29.html](https://park.common30.jp/2016/11/blog-post_29.html))。この時のお話からも、同社の「人財」に対する数値化できない見えない価値が、きっと、同社をより強くしていくのだからと感じたことを覚えています。

強いリーダーシップで活力ある現場を再構築し、同社が持つ歴史と技術力によって会社を再興させた魚谷さまより、同社の魅力お伺いするのが今から楽しみです。

マーケティング部 福本 美帆



資生堂本社ビル1階にて



資生堂さんでの打ち合わせの様子

## ● ちょっといい話

### 【4年目を迎えて】

おかげさまで、「コモンズ30+しずぎんファンド」が満3年を経過し、4年目を迎えました。3年の運用実績が出来ましたので、投資信託の格付け会社からの評価も始まりました。

その格付け会社の1社であるモーニングスター社からは最上位の5つ星の評価を頂いています。5つ星からのデビューは、継続が大変ですが皆さまからの応援を支えに頑張って運用してまいります。

さて、当ファンドの90%程度を占めるコモンズ30マザーファンドは、今年で運用開始してから10周年を迎えます。節目の10年目を迎えるにあたり初心を忘れないように、コモンズ30ファンドの最初の月次レポートを見返してみると、下記のようにコメントしていました。

「ようこそコモンズ投信へ」

コモンズ30 ファンドは、1月19日より運用を開始いたしました。沢山の方々から応援をいただき、心から感謝申し上げます。さて、30年目線での運用という驚かれた方も多いことと思います。これは、30年後の株価を当てることでも、30年間保有することを条件に投資をすることでもありません。

私たちは、積極的な調査活動により、30年後も日本をけん引していく企業を見つけ投資をしていきます。財務データも企業の長期的な背景を把握するために活用し、更に、環境の変化が激しい時代を生き抜くために必要な人材、企業文化などを理解することで「企業の競争力の源泉」や「企業の底力」を見極めていきます。どうぞ末永くお付き合いくださいますようお願い申し上げます。

これは2009年の3月末の月次レポートです。リーマンショック直後の冷え切った株式市場に30年目線の長期投資というこれまでにない運用スタイルを提示したばかりのコメントです。いまでこそ、つみたてNISAや個人型確定拠出年金=iDeCoなど長期投資が大切と言われますが、当時としてはとても珍しい考え方でした。

引き続き、コモンズ30マザーファンド同様に、当ファンドはベストセラーファンドではなく長期的な資産形成に適したロングセラーファンドを目指しています。4年目を迎えた当ファンドにどうぞご期待ください。



コモンズ投信株式会社  
代表取締役社長 伊井 哲朗



## ● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま(受益者)には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

<b>価格変動リスク</b>	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
<b>流動性リスク</b>	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があります。この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
<b>為替変動リスクおよび カントリーリスク</b>	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。

## ● その他の留意点

収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

## ● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
静岡ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○			

## ● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

## ● お申込みメモ

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申込下さい。

金融商品取引業者  
関東財務局長(金商)第2061号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
**コモンズ投信株式会社**  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■ コールセンター (受付時間/平日 9時~17時)

**03-3221-8730**

■ ウェブサイト

<https://www.common30.jp/>